

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		仙台市袋原たんぽぽホーム		公表日		令和8年3月19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・毎日登園を優先したため、後半クラスの人数が多くなったが、登園人数が多い時は部屋をわけるなどして安全で十分な活動スペースを整えている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・登園人数やこどもの状態に合わせて活動に入る職員を調整している。 ・クラス内で調整が難しい時には、全体で調整した。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・バーテーションや視覚提示を使用し、わかりやすく構造化した。 ・室内の装飾は最低限にし、視覚刺激を低減した。 ・こども達の特性、グループの実態に合わせた構造化と環境整備を行い、評価・改善を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・バーテーションを使い、活動に合わせた空間づくりをした。 ・日々の清掃で清潔を保ち、整理整頓に努めている。 ・玩具の消毒を毎日行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・こどもの様子に合わせて対応できるようにしている。 ・個別のブースを準備したり、気持ちを切り替える場所を保障している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・日々、事前に計画を立て、活動後に反省を行っている。改善点は次の活動や支援に活かしている。 ・定期的に職員で話し合っている。 ・クラス職員間だけでなく、主任や園長も参加し、目標の設定や評価を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者の意向を聞く機会、職員間で共有する機会を設けている ・アンケートを実施して結果を職員で共有する機会を設け、具体的な対応につなげるようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・面談などを通じて職員が意見を言う機会が設けられている。 ・職員会議や日々の全体反省の中で意見を交換し業務改善をしようとしている。 ・日々の振り返りで意見を出し合い、共有が必要なことは全体反省で周知される。 ・日々のクラス反省や全体反省を通し、職員間の意思疎通を図り情報共有している。 ・全体反省の場や打ち合わせで話し合っている。 ・意見は言いやすい環境。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・アーチルが定期的に訪問し、療育に対する意見などをうかがっている。 ・指導課などからの評価は全体で共有し改善している。		

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・平均して月に1回以上研修や勉強会の機会がある。 ・法人内、施設内で研修を行い資質向上に努めている。 ・外部講師による研修や園長主任による研修を行っている。 ・研修後は感想を提出することで考えを整理する機会となっている。 ・こんな研修を受けてみたいといった意見を聞き取る機会がある。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに公表している。 ・常時、廊下に提示してある。 	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・センターで統一されたアセスメントシートを用いてアセスメントを行っている。 ・面談や日々の様子をクラス担任、園長、主任とも共有して作成している。 ・子どもは担任が主軸となり複数の職員でアセスメントした上で保護者のニーズを吸い上げ児発管を中心に支援計画を作成している。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・主任、クラス担任も支援会議に参加して検討している。 	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議の中で計画を振り返る機会を設け、職員間で共有している。 ・クラスだけでなく他クラスの支援計画も回覧し確認。特記事項は記録だけでなく報告し共有している。 ・支援計画は職員全体が目を通ししっかりと共有されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で回覧しているが、支援目標に向けて日々確認する機会を増やした方が良い。 ・回覧されるが、他クラスの支援計画は回覧のみだと把握が難しいと感じた。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録や活動の反省やクラス会議で確認している。 ・日々の療育の振り返り会議等で子どもの姿を確認していくと共に行動の様子からの気づきは職員が互いに話し合いながらアセスメントしている。 ・希望があれば発達検査を行い、職員でも共有している。 	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議内で丁寧に話し合い設定できている。 ・子どもや保護者にとって最善の支援とは何かを考え、保護者とやりとりしながら一緒に考えている。 ・支援会議の中で十分に意見を出し合っている。 ・家族支援が必要なご家庭の支援内容も確認している。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・立案はその日のリーダーを中心に検討し、クラス全体で相談しながら決定する。 ・子ども達の様子から、どのように伸びてほしいかを共有し具体的に考え立案している。 ・クラス内で話し合い、日々より良くなるように意見を出し合って立案している。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味や発達に合わせて調整している。 ・同じ活動を行った時には子どもの変化などを職員間で共有している。 ・月の活動プログラムも偏りがないように作成している。 	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日を個別活動としている。 ・個別活動の中では支援計画に基づいた支援を心がけている。 ・個別活動で丁寧にしかかわることで土台作りをし集団での活動に活かしている。 ・子どもが主体的に参加できるプログラムを計画している。 ・子どもの様子に合わせてクラス交流などもしている。 	
適切な支援の提供					

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・前日に打ち合わせ、変更点などは当日確認し、役割や配慮事項の確認を行っている。 ・活動のながれ、目的、職員の動きなど細かいところまで確認している。 ・臨機応変に対応できるように心がけている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとと全体で行っている。活動の狙いを中心に振り返りを行い、翌日の支援に活かせるようにしている。 ・日々ケースに記録し、支援計画を立てる際などに活用している。 ・狙いに対しての振り返り、次回への改善点、保護者からの情報など共有している。 	・支援の振り返り、気づきをその日のうちに共有しているが、次の改善対策まで検討できないこともある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・記録し職員間で共有している ・日々のケース記録、活動のクラス日誌、保護者と面談した際には保護者支援記録を記入している。 ・日々の記録を取ることで小さな変化にも気づき、支援を行う上での基本となる。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っている。 	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管、園長、地域相談員、担任が参加し、他職員にも共有されている。 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修、交流、情報交換、引継ぎを行っている。 ・地域相談員、園長、主任が中心となって連携をとれる体制がある。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援シートを母と確認して作成している。シートを用いてホームで行ってきた支援を共有している。 ・地域の保育所幼稚園職員への研修や相談に応え、施設内でできる支援の在り方を一緒に考える機会を設けている。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	該当なし			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行ったり、施設の見学を行う等連携を図っている。 ・園長や地域相談員、主任が主に地域の関係機関と連携を行っている。 ・市連協の中で情報の共有や取り組むべき支援の検討を行い、共通のアセスメントシートを作成した。 ・事業所とセンターを併用しているケースについてはコア事業所として連携会議も行った。事業所とは地域相談員が関係づくりから始めている。 	
	29	・積極的に外部の専門家から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に外部の専門家から助言をいただける機会を作った。 ・園内でのケース検討もあり助言をうける機会がある。 	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・園長、主任地域相談員が参加している。 	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	該当なし			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育園との交流の機会を設けている。 ・地域の児童館でのイベントには参加したり遊びに行く機会を設けている。 	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の中で保護者と話し、必要に応じて面談する機会も設けている。 ・子どもが活動に参加する様子を職員が保護者と一緒に離れたところから見る機会を設けている。 ・日々の様子を保護者と伝えあっている。課題対応は職員間で相談して保護者と共有している。 ・単独活動では連絡ノートを利用して共有し、共通理解を図っている。 	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・グループや個別での様々な勉強会を通して情報提供を行っている。 ・ペアトレを園長が行い、こどもへのかかわり方を学ぶ機会を設けている 	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・見学时や入学時の説明会などで説明している。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談で聞き取った内容を基に支援計画を作成している。 ・初期面談時に保護者の願いを確認し支援計画に反映している。 ・アイル、児童の状況等保護者に提出してもらった書類を参考にしうたえで、初期面談を行っている。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・詳しい説明を心がけ同意を得ている。 	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートや保護者との会話などから相談があった際にその都度対応している。 ・面談の他に園長やクラスリーダーを中心に話を聞く機会を設けている。 ・普段の活動や個別活動の時などこまめに聞き取っている。保護者の様子にも気を配り話を聞くようにしている。 	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・年数回、保護者同士の交流日や、兄弟同士の交流の行事を開催している。 ・日々の活動の中でも保護者同士が交流できる時間を設けている。 ・家族参観では母だけでなく父同士も交流できるように配慮した。 ・午後の時間にコーヒータイムがありゆっくりと過ごしている。 	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でも共有し対応をなるべく迅速に行うように努めた。 ・必要に応じてクラスリーダー、園長、主任、看護師等が対応している。すぐに報告して迅速に対応するよう心掛けている。 ・職員間の連携を図り、すぐにクラスリーダーに伝えるようにしている。 	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回活動予定の説明を行っている。 ・ホームだよりや月の予定表を作成し配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリに移行していくと保護者共に確認確認がしやすくなると思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人が特定されるようなものは鍵がついたロッカーに入れるようにしている。 ・個人情報はUSBのみに保存し鍵付きのケースで保管している。 ・個人情報が記載されているものは施錠を徹底している。 ・個人情報は持ち出さないう所内のみで取り扱うことを徹底している。 	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的にわかりやすくしたり個別により丁寧に説明するようにしている。 ・対応を職員間で話し合い、共通の対応ができるようつとめている。 ・予告や見通し、子どもには分かりやすい対応、保護には子どもの強みや変化を伝える。情報を伝えるだけでなく気持ちを受け止める。 ・個々に寄り添った言葉や対応をするようにしている。 	・重複して確認してしまうことがある。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の招待は難しいが、近隣の保育所の園児を行事に参加できるようにした。 ・見学等は随時受け入れている。 	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを確認する機会を設けている。 ・実際に想定した訓練を行ってきた。 	・マニュアルの確認を職員全体でできる機会が必要である。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行っている。 ・様々な想定で避難訓練を行っている。 ・災害に備え、備品の見直しも行っている。 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師を中心に行っている。 ・入園児に健康管理カードを記入してもらい、必要に応じ情報を更新している。 ・分離や単独登園に向けて服薬や対応の仕方について確認をしている。 	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの有無を職員間で把握し対応している。 ・母子通園のため指示書はもらっていないが医師から伝えられていることや書類は保護者と確認している。 ・リスクのあるものは提供を避ける。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・研修をしている。 ・施設内の安全点検を定期的に行っている。 ・マニュアルの読み合わせを行っている。 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を設け周知に努めている。 ・大規模災害の際の連絡の取り方を入園時に周知している。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を閲覧し口頭でも共有している。対策についてもその都度検討している。 ・発生した時には詳細を共有し、原因を分析し、再発防止に努めている。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を設置し、会議を月に1回も請けている。 ・児童相談所と連携した。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回身体拘束に関する会議を行っている。現在は身体拘束は行っていない。 ・やむを得ず行う場合は保護者の同意を得ている。 	・職員の捉えもそれぞれ曖昧な所があったため、再度共有する必要がある。